

豊島区政公報

昭和27年12月15日
 第37号
 発行所 豊島区役所
 豊島区立第一小学校
 電話 649
 印刷所 豊島印刷株式会社
 電話 1101-5

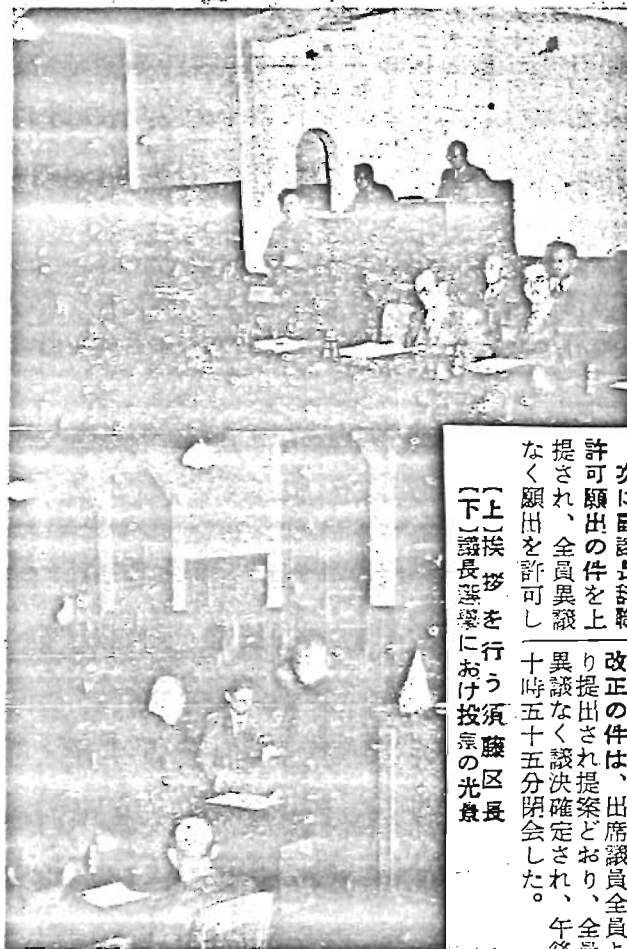
第六回豊島区議會開催さる

新議長副議長決定 十一月二十八日

十一月二十八日午後九時五十九分、古賀副議長本会議の開会を宣し、須藤区長より招集の挨拶があつた後、左記日程に入る。

件 出席議員全員の賛成に依り許可され、引続いて後任の議長選挙を単記無記名投票に依り行つた結果、元谷議員が議長に当選した。

次に副議長辞職許可願出の件を上げ、全議員異議なく願出を許可し、午後十時五十五分閉会した。



次に副議長辞職許可願出の件を上げ、全議員異議なく願出を許可し、午後十時五十五分閉会した。

豊島区P・T・A連合会より

須藤区長に頌徳表が贈らる

近く本区小学校における二部教授が全面的に解消されるのを記念し、去る十一月二十五日午後一時より、豊島公会堂において、豊島区小、中学校P・T・A連合会主催のもとに「豊島区立小学校二部教授解消記念大会」が「須藤区長に対する頌徳表贈呈式」と併せて開催された。

大竹中学校P・T・A連合会長の開式の辞に次いで、森田小学校P・T・A連合会長より須藤区長の教育に対する熱意と、功績を讃える言葉があり、「頌徳表」と記念品が、森田連合会長より須藤区長に対して贈呈された。終つて須藤区長の謝辞、小中学校代表の感謝の言葉、古賀区議会代表、片岡教育委員長の祝辞があり、四海区議の閉式の辞により盛会裡に式を終了した。

小中學校生徒代表の感謝の言葉を受ける須藤區長



十一月中に行われた各種委員会

- 本会議 一回
 - 全員協議会 一回
 - 総務委員会 二回
 - 自治振興委員会 一回
 - 財務委員会 一回
 - 教育委員会 二回
 - 厚生委員会 一回
 - 商工委員会 二回
 - 建設委員会 二回
 - 公会堂運営委員会 四回
 - 各派協議会 六回
 - 委員長会 一回
 - 計 二四回
- 十月三十日行つた、公会堂運営小委員会は十一月分として報告した。

第四期区政地区協力員の委嘱は 明春一月中旬開催の予定

昭和二十四年十二月迄足以来豊島区政の象徴として、区政の浸透徹底に多大の盛果を挙げ、全住民から親しまれてゐる区政地区協力員も、爾來回を重ねること三回早くも任期となり、去る十一月中旬以来、区政地区委員長連合協議会、

出張所長事務協議会等及各地区委員会を以て開催し、第四期協力員に委嘱について打合せを行い、本年中に諸般の準備を了し、明春一月中旬例年の通り委嘱状の交付を行う予定である。

区政地区委員長連合協議会開催さる

十一月二十二日午前十一時二十分より、区役所二階会議室に於て開会、全地区委員長区側から木村助役自治振興課長、区民係長が出席、輪番制により元谷第八地区委員長が

座長となつて左記の事項を協議午後一時三十分散会した。

記
 一、区政地区協力員の任期について
 二、その他

式年成 立太子の禮 皇太子

十一月二十五日午前十時より区役所内区議会議場において本区区制施行二十周年を記念し、区議会議員及び区職員多数の出席のもとに式典を挙行し併せて区政の発展に功勞のあつた者として、十年以上の永年勤続職員二十名、及び区職員六十五名に対し、表彰が行はれた。

並に區制施行二十周年記念

功勞者表彰等諸行事挙行さる

十一月二十五日午前十時より区役所内区議会議場において本区区制施行二十周年を記念し、区議会議員及び区職員多数の出席のもとに式典を挙行し併せて区政の発展に功勞のあつた者として、十年以上の永年勤続職員二十名、及び区職員六十五名に対し、表彰が行はれた。

(衛生要員功勞者感謝の集い)



(須藤区長より感謝状を受ける衛生モデル地区代表)



十二月二日 (夙夜二回挙行)

遺家族留守家族慰問大会

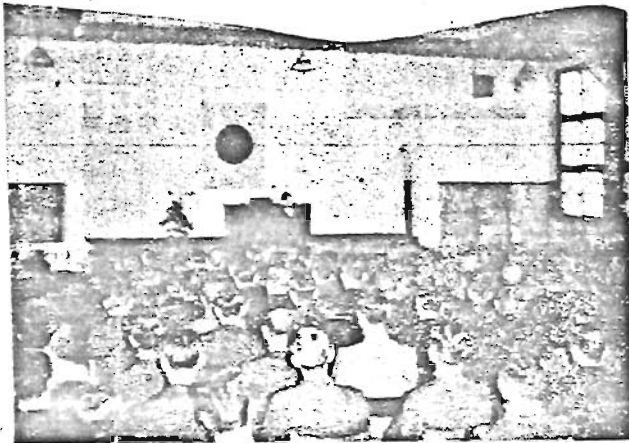
区内居住約三千名の遺家族留守家族を招待、須藤区長始め元谷区議会議長より激励の挨拶あり、終つて演芸会を開催した。

十二月三日 (夜)

要保護者慰問大会

要保護者約二千名を招待し演芸会を開催した。

(区議会議場における区政功勞者表彰式)



(未亡人激励の夕における公会堂内部)



工業調査實施

十二月三十一日現在

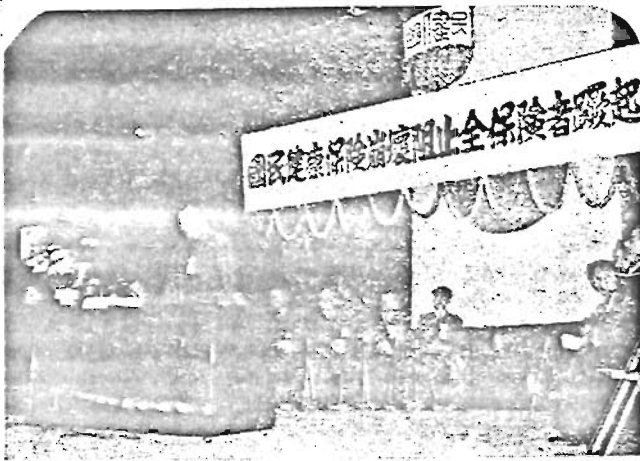
我が国の基礎的産業の中核をなしている製造工業の現況を把握し、通商産業政策並びに中小企業対策その他個々の施策に必要な諸資料を得るため、例年の通り本年十二月三十一日現在で昭和二十七年工業調査が実施されます。昨年は二十六人の調査員により調査を致しましたが、本年は三十三人の調査員で調査を行います。調査対象、調査事項及び方法は昨年と同様です。調査の対象は、日本標準産業分類による製造業の現場の事業所で、製造業の非現場、製造問屋、製造小売業、修理業御不審の点は総務課統計調査係に御問合せ下さい。

国民健康保険崩壊阻止 全保険者蹶起大會

十二月五日挙行さる

社会保険制度の基盤ともいふべき、国民健康保険事業は、我が国最大の厚生事業であるが、いまや極度の経営難に陥り、全面的崩壊の危機に直面している。『全国国民健康保険団体中央会』主催の下に、『医療給付額の二割以上国庫負担即時実施』を大会スローガンとして、去る五日午前十時三十分より全国都道府県の代表約二千名により、豊島公会堂に於て開催された。

大会は主催者の挨拶に始まり、経過報告、来賓激励の辞として各団体代表より挨拶があり（この際本区須藤区長は地元区長として挨拶を行った）、終つて議長及副議長の選任を行い、協議に入り、繞いて宣言文の朗読、決議を行つた。大会終了後各代表は、十数輛のバスをつらね、内閣、国会に陳情を行つた。



(挨拶をする須藤区長)

歳末貯蓄運動

豊島区貯蓄促進大會

十二月十二日公会堂に
二、〇〇〇名の参加を得て開催

現在展開中の「歳末特別貯蓄運動」の一環として、歴次にわたり実施された貯蓄運動に対する感謝と併せて歳末貯蓄運動の一段の活性化を計るため、十二月十二日午後一時より、豊島公会堂において、都区共催のもとに『豊島区貯蓄促進大會』が開催された。大會は午後一時、立錐の余地もなく約二千名の来会のもとに開催され、須藤豊島区長齋藤東京都生活部長の挨拶あり。

続いて貯蓄増強中央委員会事務局長増田常次郎氏の貯蓄に関する講演があり、大會を終り、休憩の後、講談と映画の会に入り、一龍齋貞山師の五十分になん／＼とする熱演十八番の『義士伝』を満場感銘深く聴き入り、続いて東映特作映画『いと子と耐えてゆかむ』（水谷、山田共演）の上映あり、午後五時散会した。

豊島区人口等の現況 (昭和廿七年十二月一日現在)

出張所	総戸数	総世帯	人口		
			男	女	計
1	6.709	12.101	23.776	23.393	47.169
2	6.834	12.605	26.398	23.997	50.395
3	5.244	8.592	15.991	15.558	31.549
4	3.959	6.280	12.312	12.702	25.014
5	3.279	4.857	10.080	9.834	19.914
6	3.592	6.376	12.695	12.446	25.141
7	3.356	4.984	9.972	9.723	19.695
8	3.425	5.159	10.410	10.093	20.503
9	3.453	4.822	10.172	9.667	19.839
合計	39.851	65.776	131.806	127.413	259.219

趣意

昭和二十七年を送るに当り年末厚生事業の協力資金とするために豊島公会堂において大歌舞伎「かたばみ座」の公演を催すこととなりました。御賛助につきましては一口百二十円とし御招待を致し御観覧を願う次第であります。歳末諸事御多端のことと存じますが、この趣意をくまれ絶大なる御協力をお願い致します。

昭和二十七年十二月

豊島区役所

豊島区厚生事業協力演芸大会番組
大歌舞伎「かたばみ座」公演

十二月二十二日より
二十六日まで

昼の部 午後五時三十分 開演
夜の部

一番目 壽根引門松 (一幕)

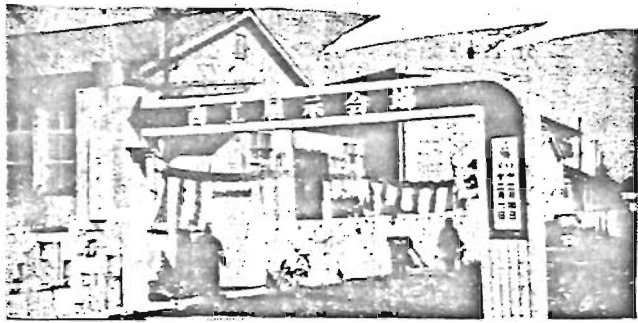
中幕 坂名忠臣藏 (九段目)

二番目 山科閑居の場 (二時間十分)

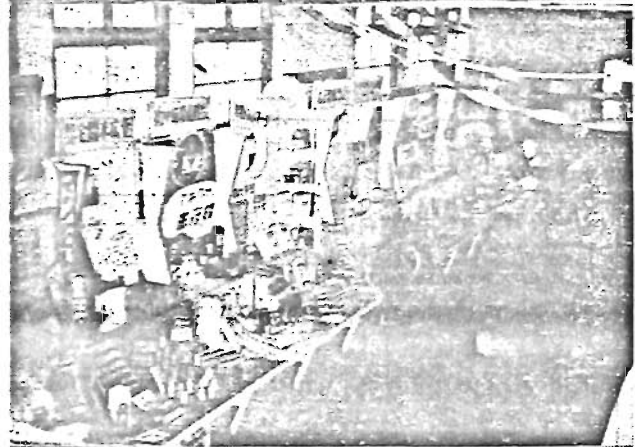
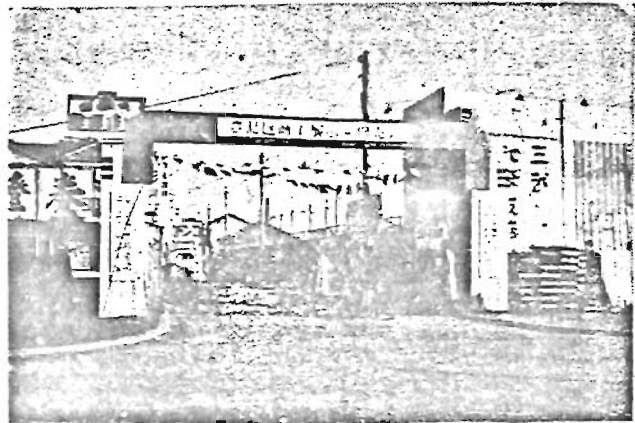
新内出語り 明烏夢泡雪 (二時間)

●優俳演出●
坂東 東川 竹次郎 小若 若水 水若 新車
東川 竹次郎 小若 若水 新車
東川 竹次郎 小若 若水 新車

★切符御希望の方は各出所にて、出下し、



商工豊島の優良生産品を蒐め



十二月四日・五日・六日に亘り

豊島区商工展示即売会

盛況裡に終了

本区に於いては、工業の伸張を図り、躍進豊島に同じ昭和二十五年同二十六年の両度にわたり開催した、豊島区優良生産品展示会に寄せられた各方面よりの好評に、豊島区商工業の現況を広く一般に周知すると共に、その優秀製作品を更に普及宣伝し、区内商

工業の伸張を図り、躍進豊島に同じ昭和二十五年同二十六年の両度にわたり開催した、豊島区優良生産品展示会に寄せられた各方面よりの好評に、豊島区商工業の現況を広く一般に周知すると共に、その優秀製作品を更に普及宣伝し、区内商

たり、盛大に開催された。出品物は区内生産業界より他区は勿論、全国に誇りうる内容外観共に充実した五十余品が展示場に陳列された。会期中は晴天に恵まれ、連日区内小、中学校の児童、生徒、一般市民の参観は勿論、近県各都市関係者の参観をみる賑かきで、連日両会場を圧し、来会者の数は延三万人を数え、その盛況は躍進途上にある、商工豊島の面目が遺憾なく発揮された。

【写真説明】

左 上 第一会場入口
右 上 第二会場入口
中 及 下 は 第一会場
の 製品 展示 の 光景

印鑑届と

各出張所で出来ます

必要の方は管轄の出張所へお出下さい

印鑑の取扱いは、東京都制鑑条例（昭和二十三年二月九日東京都条例第二十号）並に同施行細則によるものであります。新しく印鑑を届けられる方は

豊島区に住所を有する者で新に印鑑届をする方は、管轄の出張所に届出をして下さい。届書には、連署人が必要で連署人は既に豊島区に印鑑届のしてある印で連署しなければなりません。この場合、同一出張所管内の連署人が便利

です。届出は必ず本人自らでなければなりません。代理人は委任状がなくても認められませんが、ゴム印、三文判又は磨滅等のため照合に困難なものは届出できません。

二 実印を改刻又は紛失された方は
改刻した場合
旧印と新印を併せて届書に

昭和二十七年を送るに当り区民各位の御健康と御多幸なる御越年を祈る

昭和二十七年十二月

豊島区長 須藤喜三郎

証明は所轄の出張所と区役所で貰えます。但し、昭和二十六年十一月一日以前に印鑑届をされた方で、その後出張所の印鑑台帳となるべき、印鑑届本の届けをしていない方は、区役所でその手続を済ませた上でなければ、出張所では貰えません。

印鑑証明手数料は、一件につき三十円です。